

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、
次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	石清尾山古墳群調査整備会議 第3回整備部会
開催日時	平成30年11月27日(火) 13時30分～17時
開催場所	高松市埋蔵文化財センター2階 講座室
議 題	議題1 保存活用計画について
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	
出席委員	広瀬委員（国立歴史民俗博物館名誉教授）、大久保委員（徳島文理大学教授）、山中委員（香川大学教授）、林委員（兵庫県立大学大学院教授）、上杉委員（京都府立大学准教授）、信里オブザーバー（香川県教育委員会主任文化財専門員）
欠 席 者	なし
傍 聴 者	0人（定員10人）
担当課及び 連絡先	文化財課（文化財調査係） 823-2714

審議経過及び審議結果

審議経過及び結果

議題1を設定し、主に委員から以下の内容の意見を得た。

議題1 保存活用計画について

1 保存活用計画作成のスケジュール

（事務局からの説明）

- ・2019年度末に保存活用計画を作成する予定である。
- ・本会議以降に、史跡指定地の土地所有者や管理者等と保存活用計画作成に係る協議を開始する予定である。

（委員からの意見等）

- ・事務局が示すスケジュールは余裕のないものであるため、スケジュールどおりに進めるために関係機関等との情報共有を密に行うべきである。

2 平成30年度下半期の事業内容

（事務局からの説明）

- ・保存活用計画作成に係る樹木調査、史跡境界杭の設置、石船塚古墳石棺の環境調査、パンフレット作成などを行う。

（委員からの意見等）

- ・特になし。

3 保存活用計画の内容について

(委員等からの意見等)

- ① 既指定古墳の範囲確認と追加指定及び鶴尾神社4号墳の墳丘や石船塚古墳の石棺の保全対策等について、史跡の保存に当たって緊急度の高い項目であるため、優先的に取り組む事項と考えられる。
- ② 小規模積石塚と群集墳は、基礎的かつ組織的な調査を行った上で、①とは段階を分けて行うべきである。
- ③ 墳丘上を通る登山道・管理道は、古墳保護のために迂回させる。その上で、積石塚の現状の価値を保存することと見学者の安全を確保することを目的として、基本的に墳丘上への立入りを制限する。措置の前提として、文化財専門員が同伴した見学を可とするなど、見学に際してのルールを作るべきである。
- ④ 積石塚の墳丘上の樹木は土地所有者・管理者等と十分な事前協議を行った上で、伐採することを目指すべきである（関係機関との入念な事前協議を行う）。

(その他の委員からの意見等)

- ・「里山」という用語について、古墳など歴史的価値を伴う新たな意味での「里山」を作るという趣旨になるようなフレーズに修正した方が良い。